

科目ナンバー	SEM-4-005-ky			科目名	卒業研究（内田）		
教員名	内田 直仁			開講年度学期	2020年度 前期～後期	単位数	4
概要	大学の4年間、何をしてきたか、何を学んできたか、これを恥じずに堂と語れるために、論文作成を通じて卒業研究をまとめることを目的とする。						
到達目標	①大学生・大学時代でなければ学びづらい、立場と時間の自由度を生かした研究への取り組み②論文作成を通じた論理構成と文章作成能力の習得③研究発表を通じたプレゼン資料作成とプレゼン能力の習得④社会から評価される興味深い研究成果⑤高い研究成果を認められる者は、学会発表を検討する						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	○
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル	○
教授法及び課題のフィードバック方法	課題演習と異なり、個人での研究を義務付ける。当然、卒業論文作成を求める。研究内容は、個別指導を基本とする。論文作成・プレゼン方法等、共通的な研究技法は、全体で講義形式で行う。研究報告では、なぜそうといえるのか、研究の裏付けを強く求めている。また、インプットされた知見は、相手に伝わって価値や評価が高まると考えられるため、アウトプットの指導も重視する。いい報告を行うためには、事前準備は当然のこと、緊張する中で説明する、度胸等の気持ちの持ち方も大事であると思われる。しかし、このような能力は、習うより慣れるで身に付くとも考えられる。そのため、人前で多くの発表を行わせ、場数を踏ませる。このことにより、技法だけでなく経験に基づく人前に入る自信も含めた、プレゼン能力習得を意識して指導を行う。						
アクティブラーニング			サービラーニング			課題解決型学修	○
受講条件 前提科目	課題演習Ⅰ・Ⅱの単位を取得していること						
アセスメントポリシー及び評価方法	評価方法：卒業論文提出60%+卒業論文とプレゼンの完成度40%=100%前提科目：課題演習Ⅰ・Ⅱ						
教材	特になし						
参考図書	適宜指示						
内容・スケジュール	①安定した研究環境を確保するため、早期の就職内定をサポートする。②内定を得るまでの期間は、就職活動と研究の両立を目指し、研究テーマ設定(背景・目的・手法等の序章作成)を中心に指導する。③就職内定後から、本格的な研究に取り組ませる。④前期は、個別指導を中心とし、文献調査や情報収集を行わせる。⑤夏季休暇で、必要なフィールドワーク・取材研究を行わせる。⑥後期は、全体で論文作成法、プレゼン資料・プレゼン方法を教授する。⑦多くの報告会を開催すると同時に詳細な論文校正を行う。⑧研究成果の優秀な者は、学会報告への指導を行う。						

Number	SEM-4-005-ky	Subject	Graduation Thesis			
Name	内田 直仁 (Uchida Nahito)	Year and Semester	Full-year for 2020	Credits	4	
Course outline	0 A graduation practice creates a dissertation.					